

全国执业药师资格考试培训教材

实用药學日語

国家医药管理局科技教育司 组织编写

中国医药科技出版社

全国执业药师资格考试培训教材

实用药學日語

国家医药管理局科技教育司 组织编写

主	编	徐	纲	绪
主	审	徐	效	勉
编	者	徐	效	勉
		吴	立	军
		徐	纲	绪

中国医药科技出版社

登记证号:(京)075 号

内 容 提 要

本书由四章四十三节课文及附录构成。内容包括第一章日本药典、第二章药品说明书、第三章参考文献、第四章附录。每节课文包括日文原文、单词、注释、语法及译文五部分组成。学习了本书后即可阅读日本出版的诸如药典、药品说明书、药学文献等日文书刊。

本书作为执业药师的培训教材使用,也可供医院药房、药厂、药检所、药品生产流通领域等药学工作者使用。

图书在版编目(CIP)数据

实用药学日语/国家医药管理局科技教育司组织编写.

-北京:中国医药科技出版社,1996.5

全国执业药师资格考试培训教材

ISBN 7-5067-1544-9

I. 实… I. 国… II. 药学-日语-药剂人员-资格考核-教材 N. H36

中国版本图书馆CIP数据核字(96)第04738号

中国医药科技出版社 出版
(北京海淀区文慧园北路甲22号)
(邮政编码100088)

河北省昌黎县印刷厂 印刷
全国各地新华书店 经销

*

开本 787×1092mm $\frac{1}{16}$ 印张 13 $\frac{1}{2}$

字数 391 千字 印数 1—7000

1996年5月第1版 1996年5月第1次印刷

定价: 15.00 元

全国执业药师资格考试培训教材

编 审 委 员 会

名誉主任委员 郑筱萸

主任委员 张鹤镛

副主任委员 王明学 白惠良 苏怀德

委 员 (以姓氏笔画为序)

尹德洲 卢玲爱 孙嘉庆 李 端

朱景申 朱世斌 毕殿洲 华维一

刘良述 刘镇宇 郑 虎 郑俊华

杨世民 杨志超 杨荣光 杨维濂

余传隆 吴美琪 吴凯云 张钧寿

张智德 金蓉鸾 崔 征 董善年

高霞云 俞观文 徐刚绪 徐效勉

蔡庆参 潘广成

编写说明

中共中央十四届三中全会于1993年11月14日通过的《关于建立社会主义市场经济体制若干问题的决定》中指出：“要把人才培养和合理使用结合起来，配套改革劳动人事与干部选拔制度。要制订各种职业的资格标准和录用标准，实行学历文凭和职业资格两种证书制度，逐步实行公开招聘，平等竞争，促进人才合理流动”。

据此，国家劳动部、人事部于1994年2月22日联合发文，颁发《职业资格证书规定》。《规定》指出：“职业资格是对从事某一职业所必备的学识、技术和能力的基本要求。职业资格包括从业资格和执业资格。从业资格是指从事某一专业(工种)学识、技术和能力的起点标准。执业资格是指政府对某些责任较大、社会通用性较强、关系公共利益的专业(工种)实行准入控制，是依法独立开业或从事某一特定专业(工种)学识、技术和能力的必备标准。国家职业资格证书参照国际惯例，实行国际双边或多边互认”。

药品是特殊商品，与人民健康和生命息息相关，因此国家人事部和国家医药管理局于1994年3月15日联合发文，决定在全国药品生产和药品流通领域实施执业药师资格制度，要求“凡从事药品生产、经营活动的企事业单位，在其关键岗位必须配备有相应的执业药师资格人员。执业药师通过资格考试取得执业资格，依法独立执行业务”。

为提供统一、合格的教学材料，国家医药管理局科技教育司依据国家医药管理局编写、国家人事部审定的考试大纲，计划组织编写“全国执业药师资格考试培训教材”。“培训教材”按考试大纲要求编写，是对执业药师有关方面业务要求的具体体现，因此是考生备考的主要材料。执业药师资格制度尚在试点阶段，有关教材编写更需要一个建设过程。因此所编教材，开始将提供试用，通过教学实践，而后再修订完善。有关执业药师资格考试培训用的其它正式材料及教学文件等也将由国家医药管理局科技教育司统一组织。

全国执业药师资格考试培训教材包括下列书目：

《考试大纲》、《药事管理知识》、《药事法规汇编》、《药剂学》、《药理学》、《药物分析》、《药物化学》、《生药学》、《综合知识与技能概要》、《实用药学英语》、《实用药语日语》、《药事法规解说》、《药学专业基础知识复习大纲》。

此外，为了正确引导考生复习并帮助各地考前培训教师正确把握考试要求合理安排教学，我司在1995年全国执业药师考试结束后即组织有关专家编写了《1995年全国执业药师考试试题与解答》一书，供各地师生参考。

本教材既适合面授教学，也适合函授和考生自学。全套教材均经国家医药管理局执业药师考试培训教材编审委员会审定。

国家医药管理局科技教育司

1995年12月

前 言

本书按国家医药局要求,为参加执业药师资格考试人员编写的,并可供医院药房、药厂、药检所、药品生产流通领域等的药学工作者使用。掌握了本书内容即可阅读日本出版的诸如药典、药品说明书、药学文献等药学方面的日文书刊。

本书由四章四十三节及附录构成。每节包括日文原文、单词、注释、语法、译文等四部分。第一、四章译文由徐效勉完成;第二章译文由徐效勉、吴立军共同完成;第三章译文由吴立军完成;第二章的药品说明书简介,各节的单词、注释、语法由徐绪绪编写。徐万鹏完成附录部分的编写。全书由徐效勉审阅定稿。

在编写过程中得到了沈阳药科大学各级领导特别是成教办领导的关怀和支持,在这里谨表诚挚的谢意。参加本书抄写人员有:李德媛、刘王珍、王芳、黄昌华,在此一并致谢。

另外,本书在编写中,下列问题需做些有关说明:

①日文原文中的结构式,在译文中未加刊载,以便节约篇幅。

②日本药典中压力用 mmHg(毫米汞柱);容积用升(l);温度摄氏度用“°”;百分数范围用 $\times\times\sim\times\times\%$ 表示,而不用 Pa(帕)、升(L)、摄氏度(°C)、 $\times\times\%\sim\times\times\%$,本书未加更动。

③日本药品名,特别是商品名未查到中译名者,一律写上英文名,例如:
プリザ-S(Preser-S)、アラントイン(Arantoine)。

④日本药典通则,因篇幅所限,只选前后部分,中间删掉,故序号不连续。

由于时间短、任务重,加之我们水平有限,难免有疏漏乃至谬误之处,恭请读者不吝赐教。

编 者

1995 年 11 月

目 录

1. 日本药典

1.1	インドメタシン坐剤	(1)
	语 法: 词性	(2)
	译 文: 吲哚美辛栓	(2)
1.2	dl-塩酸メチルエフェドリン	(3)
	语 法: 句子成分	(5)
	译 文: dl-盐酸甲基麻黄碱	(5)
1.3	塩酸ジフェンヒドラミン	(6)
	语 法: 日语的语序	(7)
	译 文: 盐酸苯海拉明	(8)
1.4	ヨードチンキ	(8)
	语 法: 判断句	(10)
	译 文: 碘酊	(10)
1.5	酢酸トコフェロール	(11)
	语 法: 描写句	(13)
	译 文: 醋酸生育酚	(13)
1.6	ミョウヤク	(14)
	语 法: 存在句	(16)
	译 文: 芍药	(16)
1.7	アモバルビタール	(17)
	语 法: 叙述句	(18)
	译 文: 异戊巴比妥	(19)
1.8	イブプロフェン	(20)
	语 法: 助词	(21)
	译 文: 布洛芬	(22)
1.9	カンゾウエキス	(23)
	语 法: 补格助词「に」	(24)
	译 文: 甘草浸膏	(24)
1.10	マクロゴール 4000	(25)
	语 法: 补格助词「で」	(26)
	译 文: 聚乙二醇 4000	(26)
1.11	塩酸クロルプロマジン錠	(27)
	语 法: 补格助词「から」	(29)
	译 文: 盐酸氯丙嗪片	(29)
1.12	アミノフィリン注射液	(30)

语 法:补格助词「と」	(31)
译 文:氨茶碱注射液	(31)
1.13 通 則	(32)
语 法:补格助词「まで」	(35)
译 文:凡例	(35)
1.14 製剤総則一、	(37)
语 法:补格助词「より」	(40)
译 文:制剂通则(一)	(40)
1.15 製剤総則二、	(42)
语 法:补格助词「へ」	(49)
译 文:制剂通则(二)	(50)
1.16 製剤総則三、	(54)
语 法:补格助词「を」	(55)
译 文:一般试验法	(55)
1.17 製剤総則四、	(56)
语 法:主格助词「が」	(57)
译 文:吸收度比值法	(57)
1.18 製剤総則五、	(58)
语 法:领格助词「の」	(61)
宾格助词「を」	(61)
译 文:氧瓶燃烧法	(61)
1.19 製剤総則六、	(62)
语 法:格助词总结	(63)
译 文:重金属检查法	(64)
1.20 製剤総則七、	(65)
语 法:主谓谓语句	(67)
こそあと系词汇	(68)
译 文:水分测定法	(68)

2. 药品说明书

2.1 タケダ漢方便秘薬	(71)
语 法:动词的分类及活用	(73)
译 文:武田汉方便秘药	(74)
2.2 後藤散かぜ薬顆粒	(75)
语 法:形容词及其活用	(77)
译 文:后藤散感冒药颗粒	(77)
2.3 宇津こどもかぜ薬	(78)
语 法:形容动词及其活用	(79)
译 文:宇津儿童感冒药	(80)
2.4 ピリノキシシン点眼液	(81)

語法:語态及可能語态(一)	(83)
譯文:吡啶克辛滴眼液	(83)
2.5 ロベラエース	(84)
語法:可能語态(二)	(86)
譯文:劳美拉埃斯	(86)
2.6 紫雲膏	(87)
語法:被动語态	(88)
譯文:紫云膏	(88)
2.7 シンパスS	(89)
語法:使役語态	(90)
譯文:新帕斯S	(91)
2.8 プリザS	(91)
語法:形式体言(一)	(93)
譯文:Preser S	(94)
2.9 ハイ・アリンピター(カプセル)	(95)
語法:形式体言(二)	(97)
譯文:高效阿林维他(胶囊)	(97)
2.10 シチコリン注射液	(99)
語法:并列助词	(102)
譯文:胞二磷胆碱注射液	(103)
2.11 セフメタゾン静注用 0.25g	(105)
語法:接续助词	(111)
譯文:唑甲氧头孢菌素	(112)
2.12 ミオカマイシン錠 200	(115)
語法:提示助词	(120)
譯文:美欧卡霉素片 200	(121)
2.13 ジョサマイシン錠	(123)
語法:副助词	(127)
譯文:交沙霉素片	(128)
2.14 葛根湯エキス顆粒	(131)
語法:补助动词	(133)
譯文:葛根汤浸膏颗粒	(133)
2.15 低分子デキストランL注	(134)
語法:助动词	(137)
譯文:低分子葡聚糖L注射液	(138)

3. 参考文献

3.1 十全大補湯エキス顆粒剤の医薬品安定性試験	(140)
語法:比况助动词ようだ形式用言ように的作用比較	(147)
譯文:十全大补汤浸膏颗粒剂稳定性实验	(147)

3.2	マウスにおけるchlorpromazine 投与時のHexobarbital 睡眠持続時間に対する黄連解毒湯の影響	(150)
	語 法: 日語中的外来語	(153)
	譯 文: 黄連解毒湯对服用过氯丙嗪小鼠的戊巴比妥致催眠持续时间的影响	(154)
3.3	2,6-ジ置換 5-アセチルピリミジン-4-オンオキシムのBeckmann 転位反応による 2,6-ジ置換 5-アミノピリミジン-4-オンの合成	(155)
	語 法: 句子成分(一)	(159)
	譯 文: 2,6-二取代-5-乙酰基嘧啶-4-酮肟通过 Beckmann 转位反应合成 2,6-二取代-5-氨基嘧啶-4-酮	(160)
3.4	HPLCによる漢方製剤“温清飲”の多成分同時分析法	(161)
	語 法: 句子成分(二)	(166)
	譯 文: 利用 HPLC 对中药“温清饮”的多种成分同时进行分析的方法	(167)
3.5	ドクダミ中のフラボノール配糖体に関する研究	(169)
	語 法: 句子成分(三)	(174)
	譯 文: 菝葜中黄酮醇甙的研究	(175)
3.6	胃・十二指腸潰瘍に対するOmeprazole の臨床的検討	(177)
	語 法: 翻译技巧(一)	
	、 定语单译	(185)
	譯 文: 奥美拉唑治疗胃、十二指肠溃疡的临床研究	(186)

4. 药品标准

4.1	プロピオン酸エストラジオール	(188)
	語 法: 翻译技巧(二)	
	加译	(189)
	譯 文: 雌二醇丙酸酯	(190)
4.2	アセチルスピラマイシン	(190)
	語 法: 翻译技巧(三)	
	减译	(192)
	譯 文: 乙酰螺旋霉素	(192)
附录一	动词活用表、形容词活用表、形容动词活用表、助词分类表	(193)
附录二	化学名词中常用的数目词头	(194)
附录三	化学元素表	(194)
附录四	常用药物名称	(196)
附录五	生词一览表	(204)

1. 日本药典

日本药局方简介

日本药局方即日本药典,第一版颁布于1886年,以后几经修订,近年来是每五年改版一次,最近一版是第12版,颁布于1991年,简称日局12或JP_{XII}。

日本药局方第12版分为一部和二部。一部为化学药品及其制剂,包括通则(凡例)、制剂通则及一般试验法(相当于我国药典的附录)及药品各条(即药典正文),一部收载药品品种750种。二部为天然药品(包括中药)及其制剂、生药总则、制剂总则及一般试验法,二部收载品种共471种。

每一品种的内容书写顺序是拉丁名、英文名、日文俗名、结构式、分子式、性状、确认试验(相当于鉴别试验)、纯度试验(相当于杂质检查)、干燥减量(即干燥失重)、定量法和贮藏等。

1.1 インドメタシン坐剤

Indometacin Suppositories

本品は定量するとき,表示量の90~110%に対応するインドメタシン($C_{19}H_{16}ClNO_4$; 357.79)を含む。

製法 本品は「インドメタシン」をとり,坐剤の製法により製する^[1]。

確認試験 (1) 本品の表示量に従い「インドメタシン」0.05gに対応する量を取り,メタノール20mlを加え,加温して溶かし,メタノールを加えて50mlとし,必要ならばろ過し,試料溶液とする^[2]。この液5mlにつき,以下「インドメタシン」の確認試験(2)を準用する。

(2) (1)の試料溶液2mlにメタノールを加えて100mlとする^[3]。この液につき,吸光度測定法により吸収スペクトルを測定するとき,波長318~321nmに吸収の極大を示す^[4]。

定量法 本品20個以上をとり,その重量を精密に量り,注意して細片とし,均一に混和する。インドメタシン($C_{19}H_{16}ClNO_4$)約0.05gに対応する量を精密に量り,テトラヒドロフラン40mlを加え,40℃に加温し,振り混ぜて溶かし,冷後,更にテトラヒドロフランを加えて正確に50mlとする。この液をろ過し,初めのろ液10mlを除き,次のろ液5mlを正確に量り,内標準溶液3mlを正確に加え,更に移動相を加えて100mlとする。この液を30分間放置し,孔径0.5 μ mのメンブランフィルターでろ過し,初めのろ液10mlを除き,次のろ液を試料溶液とする。別にインドメタシン標準品を105℃で4時間乾燥し,その約0.05gを精密に量り,テトラヒドロフランに溶かし,正確に50mlとする。この液5ml正確に量り,試料溶液と同様に操作し^[5],標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液20 μ lにつき,「インドメタシンカプセル」の定量法を準用する。

$$\text{インドメタシン}(C_{19}H_{16}ClNO_4)\text{の量(mg)} = \text{インドメタシン標準品の量(mg)} \times \frac{Q_T}{Q_S}$$

内標準溶液 パラオキシ安息香酸ブチルのメタノール溶液(1→1000)

貯法 遮光した密閉容器に入れ,冷所に保存する。

単 詞

- | | | | | | |
|-----------------------------|-----|------|-----------------------------------|-----|------|
| 1. インドメタシン
(indometacin) | [名] | 吲哚美辛 | 8. テトラヒドロフラン
(tetrahydrofuran) | [名] | 四氢呋喃 |
|-----------------------------|-----|------|-----------------------------------|-----|------|

2. 坐剤 ^{ざざい}	〔名〕	栓剂, 栓	9. フィルター	〔名〕	滤器
3. よる	〔动自五〕	根据	(filter)		
4. メタノール	〔名〕	甲醇	10. パラオキシ	〔名〕	对羟基
(methanol)			(parahydroxy)		
5. ろ過 ^か	〔名, 动サ〕	过滤	11. 安息香酸	〔名〕	苯甲酸
6. スペクトル	〔名〕	光谱	12. ブチル	〔名〕	丁基
(Spectrum)			(butyl)		
7. 示す ^{しめ}	〔动他五〕	显示, 表示			

注 释

〔1〕「坐剤の製法により製する。」句型: 体言により动词 意思: 根据, 依靠

例句: (1) 容器に充てんした圧縮ガスの圧力により, 噴出する。/ 依靠充填进容器的压缩气体的压力喷出。

(2) 原料の組み合わせにより, いろいろな性質のセメントを作ることができる。/ 将不同种原料搭配, 能制造各种水泥。

〔2〕「試料溶液とする。」中的「と」是补格助词, 「する」是サ变动词, 构成: 「体言を体言とする」这一句型。表示意思: 把…当作…, 把…作为…。如: この部屋を閲覧室とする。/ 把这个房间作为阅览室。

本文中的「……試料溶液とする。」仅取句型的后半部分, 所以译成: 「……作为供试品溶液。」

〔3〕动词「加える」是他动词, 意思是加, 添加。常以「…を…に加える」或「…に…を加える」形式出现, 表示「将…加到…里」或「在…里加入…」的意思。

〔4〕「波長 318~321nm に吸収の極大を示す。」补格助词「に」接到体言后, 表示: 「在……」如: 波長 318~321nm に……。/ 在波长 318~321nm 处……。补格助词「に」的用法, 详见第 9 节语法。

〔5〕「試料溶液と同様に操作し……」とは补格助词, 表示比较的对象。如: これはあれと違う。/ 这个和那个不同。

语 法

〔日语的词性〕 日语的词汇根据其词义、形态和语法作用分为十二类。掌握日语的词性对分析句子成分至关重要。

体言: 1. 名词 2. 代词 3. 数词

用言: 4. 动词 5. 形容词 6. 形容动词

7. 副词 8. 连体词 9. 接续词 10. 感叹词 11. 助词 12. 助动词

译 文

吲哚美辛栓(消炎痛栓)

Indometacin Suppositories

测定本品时, 应含有与标示量的 90~110% 相对应的吲哚美辛($C_{19}H_{16}ClNO_4$; 357.79)。

制法 用消炎痛按栓剂的制法制成。

确认试验 (1) 根据本品的标示量称取相当于 0.05g 吲哚美辛量的吲哚美辛栓, 加甲醇 20ml, 加温溶

解,再加甲醇使成 50ml,必要时进行过滤,作为供试品溶液。取此液 5ml,以下按「吲哚美辛」的确认试验(2)项进行操作。

(2)取(1)项的供试品溶液 2ml,加甲醇至 100ml。此液用吸收度测定法测定吸收光谱时,在波长 318~321nm 处有最大吸收。

定量法 取本品 20 枚以上,精密地称其重量,仔细切成细片,混合均匀。取相当于吲哚美辛($C_{19}H_{16}ClNO_4$)约 0.05g 的栓剂,精密称定,加四氢呋喃 40ml,加温 40°,混合均匀,冷后,再准确加入四氢呋喃使成 50ml,过滤,弃去初滤液 10ml,准确地称取剩下的滤液 5ml,准确地加入内标溶液 3ml,然后加流动相至 100ml,放置 30 分钟,以孔径 0.5 μ m 的膜滤器过滤,弃去初滤液 10ml,以剩下的滤液作为供试品溶液,另取吲哚美辛标准品于 105°干燥 4 小时,取其约 0.05g,精密称定,以四氢呋喃准确溶成 50ml,准确量取此液 5ml,与供试品溶液同样操作,制成标准溶液。然后就供试品溶液和标准溶液各 20 μ l,按「吲哚美辛胶囊」的测定方法项进行测定。

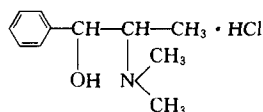
$$\text{吲哚美辛}(C_{19}H_{16}ClNO_4)\text{量}(\text{mg}) = \text{吲哚美辛标准品量}(\text{mg}) \times \frac{Q_T}{Q_S}$$

内标溶液 对羟基苯甲酸丁酯的甲醇溶液(1→1000)。

贮藏 装入遮光密闭容器,于凉处保存。

1.2 dl-塩酸メチルエフェドリン

dl-Methylephedrine Hydrochloride



($C_{11}H_{17}NO \cdot HCl$; 215.72)

(1*RS*,2*SR*)-2-dimethylamino-1-phenyl-1-propanol monohydrochloride [552-79-4]

本品を乾燥したものは定量するとき,dl-塩酸メチルエフェドリン($C_{11}H_{17}NO \cdot HCl$)99.0%以上を含む。

性状 本品は無色の結晶又は白色の結晶性の粉末で,においはなく,味は苦い。

本品は水に溶けやすく^[1],エタノールにやや溶けやすく,氷酢酸に溶けにくく,無水酢酸又はエーテルにほとんど溶けない。

本品の水溶液(1→20)は旋光性がない。

確認試験 (1) 本品の水溶液(1→100)2mlに硫酸銅試液 1 滴及び水酸化ナトリウム試液 2mlを加えるとき,液は青紫色を呈する。この液にエーテル1mlを加えて振り混ぜるとき,エーテル層は赤紫色,水層は青紫色を呈する。

(2) 本品の水溶液(1→20)1mlに水酸化ナトリウム試液を加えてアルカリ性とした後,過マンガン酸カリウム試液 2~3 滴を加えて加熱するとき,ベンズアルデヒドのにおいを発する^[2]。また,発生するガスは潤した赤色リトマス紙を青変する。

(3) 本品 0.1gを水 1mlに溶かし,ピクリン酸試液 10mlを加え,時々振り混ぜながら 2 時間放置する^[3]。生じた沈殿をろ取し,希エタノールから再結晶し,デシケーター(減圧,シリカゲル)で 5 時間乾燥するとき^[4],その融点は 124~128°である。

(4) 本品の水溶液(1→10)は塩化物の定性反応を呈する。

融点 207~211°

純度試験 酸又はアルカリ 本品 2.0gを水 40mlに溶かし、メチルレッド試液 2滴を加え、試料溶液とする。

(i) 試料溶液 20mlに 0.02N 硫酸 0.10mlを加えかとき、液の色は赤色である。

(ii) 試料溶液 20mlに 0.02N 水酸化ナトリウム液 0.20mlを加えるとき、液の色は黄色である。

乾燥減量 0.5%以下(1g, 105°, 3時間)。

強熱残分 0.10%以下(1g)。

定量法 本品を乾燥し、その約 0.4gを精密に量り、無水酢酸・氷酢酸混液(7:3)80mlに溶かし、0.1N 過塩素酸で滴定する(電位差滴定法)。同様の方法で空試験を行い、補正する。

0.1N 過塩素酸 1ml = 21.572 mg $C_{11}H_{17}NO \cdot HCl$

貯 法 遮光した密閉容器。

単 詞

1. メチル (methyl)	〔名〕	甲基	14. アルデヒド (aldehyde)	〔名〕	醛
2. エフェドリン (ephedrine)	〔名〕	麻黄碱	15. また	〔副〕	还, 另, 又
3. 又は ^{また}	〔接〕	或, 或者	16. ガス	〔名〕	气体
4. やや	〔副〕	稍微	17. リトマス (litmus)	〔名〕	石蕊
5. 酢酸 ^{さくさん}	〔名〕	醋酸	18. ピクリン酸 ^{さん} (picric acid)	〔名〕	苦味酸
6. エーテル (ether)	〔名〕	乙醚	19. ろ取 ^{しゅ}	〔名, 动サ〕	滤取
7. 無水酢酸 ^{むすいさくさん}	〔名〕	醋(酸)酐	20. デシケーター (desiccator)	〔名〕	干燥器
8. ほとんど	〔副〕	几乎	21. シリカゲル (silicagel)	〔名〕	硅胶
9. 及び ^{および}	〔接〕	以及	22. メチルレッド (methyl red)	〔名〕	甲基红
10. 水酸化 ^{すいさんか}	〔名〕	氢氧化	23. 過塩素酸	〔名〕	高氯酸
11. ナトリウム (sodium)	〔名〕	钠	24. 空試験	〔名〕	空白试验
12. アルカリ (荷 alkali)	〔名〕	碱			
13. 過マンガン酸カリウム (potassium permanganate)	〔名〕	高锰酸钾			

注 釋

〔1〕「本品は水に溶けやすく、……」句中のやすくは形容词「やすい」的连用形, 中顿法。「やすい」接到动词连用形后面, 表示: 「易于……」的意思。如: ①この万年筆は書きやすいです。/这支钢笔好用。②メチルエフェドリンは水に溶けやすい。/甲基麻黄碱易溶于水。「やすい」的反义词是「にくい」。「にくい」的接续法和「やすい」相同。如: ①この薬は飲みにくいです。/这种药难吃。②メチルエフェドリンは氷酢酸に溶けにくい。/甲基麻黄碱难溶于冰醋酸。

〔2〕本品の水溶液(1→20)1mlに水酸化ナトリウム試液を加えてアルカリ性とした後、過マンガン酸カリウム試液 2〜3 滴を加えて加熱するとき、(ベンズアルデヒドの)においを発する。

1 句中的核心詞是「加える」。它的宾语是「水酸化ナトリウム試液」,它的补语是「本品の水溶液(1→20)1mlに」表示:向…加…。接续助词「て」接到动词连用形后有多种用法,在这里构成「アルカリ性とする」的方式状语。「過マンガン酸カリウム試液 2~3 滴を加えて加熱するとき」中的「て」表示动作的先后顺序。如:朝起きて顔を洗う。/早晨起床后洗脸。

注释〔2〕句可以简化为「…後…時においを発する。」省略部分分别为「後」、「時」、「におい」的定语。所以上句译成:本品水溶液(1→20)1ml 加氢氧化钠试液呈碱性后,加高锰酸钾试液 2~3 滴,加热时产生苯甲醛气味。

〔3〕「……時々振り混ぜながら……」中的「ながら」为接续助词。学习任何一个助词都要从「接续」、「分类」、「作用」或「意义」着手。

关于「ながら」

分类:接续助词 接续:动词连用形后 意思:一边……一边…… 例句:①ラジオを聞きながら手紙を書く。/一边听收音机,一边写信。②向こうから山田さんが笑いながらや,てきた。/山田一边笑着一边从对面过来。

〔4〕「……デシケーターで5時間干燥する……」句中的「で」为补格助词,在这里表示工具的意思。因此译成:「……用干燥器干燥五小时……」。

语 法

句子的成分 句子是由若干成分构成。要想弄通一个句子,必须知道句子的成分。当然将日文译成汉语时,常常出现成分转换问题。

句子的成分可分为主语、谓语、宾语、定语、状语、补语。前三个成分为主要成分。谓语是主要成分中的重点,因为日语的谓语决定句子的意思,肯定与否定,时态等。有的句子还可能出现主题、对象语、独立部分等。本书对句子作成分分析时采用符号如下:

主语 —— 谓语 —— 宾语 ~~~ 定语 () 状语 - - - - 补语 - - -

译 文

dl-盐酸甲基麻黄碱

dl-Methylephedrine Hydrochloride

$C_{11}H_{17}NO \cdot HCl$: 215.72

2-二甲氨基-1-苯基-1-丙醇-盐酸盐

本品干燥后测定时,dl-盐酸甲基麻黄碱含量在 99.0% 以上。

性状 本品为无色结晶或白色结晶性粉末,无臭,味苦。

本品易溶于水,稍易溶于乙醇,难溶于冰醋酸,几乎不溶于醋酐或乙醚。

本品水溶液(1→20)无旋光性。

确认试验 (1)在本品水溶液(1→100)2ml 内,加硫酸铜试液 1 滴和氢氧化钠试液 2ml,溶液呈蓝紫色。此液中加入乙醚 1ml 振摇时,醚层呈红紫色,水层呈蓝紫色。

(2)在本品水溶液(1→20)1ml 内加氢氧化钠试液,使成碱性后,加高锰酸钾试液 2~3 滴,加热时,产生苯甲醛气味,同时此气体可使润湿的红色石蕊试纸变蓝。

(3)将本品 0.1g 溶于水 1ml,加苦味酸试液 10ml,反复振摇,放置 2 小时,滤取产生的沉淀,以稀乙醇重结晶于干燥器(减压,硅胶)中干燥 5 小时,其熔点为 124~128°。

(4)本品水溶液(1→10)の氯离子定性反应呈阳性。

熔点 207~211°

纯度试验 酸或碱的检查:本品 2.0g 溶于水 40ml,加甲基红试液 2 滴,作为供试品溶液。

(i)在供试品溶液 20ml 里加 0.02N 硫酸 0.10ml 时,溶液呈红色。

(ii)在供试品溶液 20ml 里加 0.02N 氢氧化钠溶液 0.20ml 时,溶液呈黄色。

干燥失重 0.5%以下(1g,105°,3 小时)。

炽灼残渣 0.10%以下(1g)。

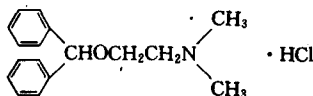
定量法 本品干燥后,取其约 0.4g,精密称定,溶于醋酐·冰醋酸混合液(7:3)80ml,以 0.1N 高氯酸滴定(电位滴定法)。用同样方法进行空白试验,校正之。

0.1N 高氯酸 1ml=21.572mg $C_{17}H_{21}NO \cdot HCl$

贮藏 遮光密闭容器中保存。

1.3 塩酸ジフェンヒドラミン

Diphenhydramine Hydrochloride



$C_{17}H_{21}NO \cdot HCl$: 291.82

2-benzhydryloxy-*N,N*-dimethylethylamine monohydrochloride [147-24-0]

本品を乾燥したものは定量するとき,塩酸ジフェンヒドラミン($C_{17}H_{21}NO \cdot HCl$)98.0%以上を含む。

性状 本品は白色の結晶又は結晶性の粉末で,においはなく,味は苦く舌を麻ひする。

本品はメタノール又は氷酢酸に極めて溶けやすく,水又はエタノールに溶けやすく,無水酢酸にやや溶けやすく,エーテルにほとんど溶けない。

本品の水溶液(1→10)のpHは4.0~5.5である。

本品は光によって徐々に変化する。

確認試験 (1)本品の水溶液(1→100)5mlにライネッゲ塩試液 5 滴を加えるとき,淡赤色の沈殿を生じる。

(2)本品の水溶液(1→100)10mlにピクリン酸試液 10mlを滴加し,30 分間放置する。沈殿をろ取し,希エタノールから再結晶し,105°で30 分間乾燥するとき,その融点は128~133°である。

(3)本品の水溶液(1→50)は塩化物の定性反応を呈する。

熔点 166~170°

純度試験 (1)重金属 本品 1.0gをとり,第4法により操作し,試験を行う。比較液には鉛標準液 2.0mlを加える(20ppm 以下)。

(2)類縁物質 本品 0.20gをメタノール10mlに溶かし,試料溶液とする。この液 1mlを正確に量り,メタノールを加えて正確に200mlとし,標準溶液とする。これらの液につき,薄層クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液及び標準溶液 5 μ ずつを薄層クロマトグラフ用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする。次にクロロホルム・メタノール・強アンモニア水混液(100:50:1)を展開溶媒として約10cm 展開した後,薄層板を風乾する。これにヨウ素試液を均等に噴霧するとき,試料溶液から得た主スポット及び原点のスポット以外のスポットは,標準溶液から得たスポットより濃くない^[3]。

乾燥減量 0.5%以下(2g,105°,3 時間)。

強熱残分 0.10%以下(1g)。

定量法 本品を乾燥し、その約0.6gを精密に量り、無水酢酸・氷酢酸混液(7:3)50mlに溶かし、0.1N 過塩素酸で滴定する(電位差滴定法)。同様の方法で空試験を行い、補正する。

0.1N 過塩素酸 1ml=29.182mg $C_{17}H_{21}NO \cdot HCl$

貯法 遮光した気密容器。

単語

1. ジフェンヒドラミン (diphenhydramine)	〔名〕	苯海拉明	8. スポット (spot)	〔名, 动サ〕	斑点, 点样
2. 麻ひする	〔动サ〕	麻痹, 发麻	9. クロロホルム (chloroform)	〔名〕	氯仿
3. 極めて	〔副〕	极其	10. アンモニア (ammonia)	〔名〕	氨水
4. ライネッケ塩 (Reinecke's salt)	〔名〕	阮氏镍	11. ヨウ素 (iodine)	〔名〕	碘
5. 生じる	〔动他一〕	引起, 产生			
6. 行う	〔动他五〕	进行			
7. クロマトグラフ法 (chromatography)	〔名〕	色谱法			

注 释

〔1〕ずつ 分类:副助词 接续:多接到数量词后 作用:表示等量、平均等意思。相当于中文的「每…」、「各…」如:1. この時計は1日に5分ずつ遅れる。/这个表每天慢五分钟。2. 残留物を水5mlずつで2回洗う。/将残留物水洗两次,每次用水5ml。

〔2〕「……強アンモニア水溶液を展開溶媒として……」句中的「として」是补格助词「と」+するの连用形「し」+接续助词「て」构成,在句中构成状语。关于句型「体言を体言とする」见1.1注释〔2〕。

〔3〕これにヨウ素試液を均等に噴霧する時,試料溶液から得た主スポット及び原点のスポット以外
1 2
 のスポットは,標準溶液から得たスポットより濃くない。
3

此句的关键在弄清三个定语从句的结构。现将三个从句分析如下:

从句1作「時」的定语。句中的「これ」指代「展開剤」。从句1的成分用符号表示如下:

これにヨウ素試液を均等に噴霧する時

从句2作主题「スポット」的定语。

((試料溶液から得た)主スポット及び原点のスポット以外の)スポットは

从句3作补语「スポット」的定语

(標準溶液から得た)スポットより

因此该句可简化为「……スポットは……スポットより濃くない。」句中的「より」是补格助词。用法见1.14语法部分。

整个句子可译成:均匀喷以碘试液时,供试品溶液的主斑点及原点斑点以外的斑点,其颜色不比标准液的斑点深。

语 法

日语的语序 语序指句子的成分排列顺序。日语的语序有以下几点。